



本日 第2220回 2016年11月4日(金) No. 2105

本日のプログラム Today's Program

卓話担当者:ロータリー財団委員会
委員長 井田 武憲君

点 鐘

卓話者:元地区ロータリー財団
委員 加藤 清久君

ロータリーソング「君が代」・「奉仕の理想」

演題:「ロータリー財団月間に因んで」

前回 第2219回 2016年10月28日(金) 記 録

○斉唱:「それでこそロータリー」

出席者: 会員 21 名中 19 名出席 出席率 90.47%
前々回補正出席率 10 月 8 日分 90.47%

会長あいさつ 山田 直樹



皆さんこんにちは。本日はゲストに尾張旭市子ども会連絡協議会の山本真依子会長と星野喜久子さんをお招きいたしました。後ほど青少年奉仕委員会の事業でありますスポーツメ

ダルの授与を行います。長らくドッジボール大会でしたが、今回よりフライングディスク大会に変わりました。後ほど山本会長よりその経緯についてお話していただけたと思います。さて先週土曜日・日曜日の2日間はWFFで、わがクラブからもたくさんのメンバーが参加してくださいました。天候にも恵まれ大変な賑わいでした。私は米山奨学生と一緒に飲み物販売をテントで行いました。大変よく売れインドネシアへの寄付に貢献できたと思います。奨学生同士も打ち解けて仲が深まったように思われました。ただ運営に関してはロ

ータリアンはあまり上手ではないところがいっぱいみえて少し配慮できるリーダーがいるといいのと思いました。得手不得手があるということでしょうか。それぞれ力を合わせて成果があがるのでしょうか。よく働き者の代表としてアリとかハチの話がでますが、北海道大学の研究によると、アリの集団はアリのすべてが働いているのではなくて2~3割が怠けて働いていないのでそうです。このことは短期的な生産効率を下げますから自然界に何故存在するのか長らく謎でした。アリには卵にカビが生えないように世話をするなど「常に誰かがしないと全体が致命的なダメージを受ける仕事」があることに注目して働かないアリがいる集団といない集団に分けて比較したところ、働かないアリがいる集団のほうが長期的に存続することがわかったそうです。アリには仕事への腰の軽さに個体差があり腰の軽いアリから順番に働き出す傾向があるそうです。働き者のアリが疲れてくると交代して怠け者のアリが働きだすことが確認されたそうです。継続運営にあたり長期的存続の観点を含めて考えることの重要性が強調されるわけです。人間社会でも会社でも同じことが言えるのではないのでしょうか。これで会長挨拶を終わります。

ロータリー財団月間

	11月6日(日) (11月11日振替)	11月20日(日) (11月18日振替)	11月25日(金)	12月2日(金)
例会予定	地区大会 於ウェスティンホテル 受付 9:00 開会 10:00 閉会 16:00	東尾張分区 IM 於名鉄犬山ホテル 受付 13:20 式典 14:00 懇親会 17:15	卓話担当者: 森井 晴生君 卓話者: " " 演題: 「NPO 法人について」	卓話担当者: 箕輪 良孝君 卓話者: " " 演題: 「ミャンマーから帰国して」

幹事報告

・10/22～23 ワールドフード+ふれ愛フェスタ

於名古屋栄 もちの木広場

次回会合：第7回理事役員会 於尾張旭市商工会館内

第1会議室 13：50～

指名委員会 於尾張旭市商工会館内

第1会議室 13：40～（理事会前）

ニコボックス

○本日の例会に尾張旭市子ども会連絡協議会の山本様と星野様をゲストにお迎えしました。ようこそ。

山田 直樹君、加藤 清久君、金森 俊輔君

菊田 利昭君、高島 昇君、古橋エツ子君

箕輪 良孝君

○本日卓話をさせていただきます。西尾 輝久君

○西尾先生、卓話御苦労様です。飯田 幸雄君

○早や10月も終わり、今年もあと2ヶ月。何となく1年が短かった感じです。江尻 豪君

○本日早退させていただきます。金森 俊輔君

尾張旭市子ども会連絡協議会



メダルの贈呈

山田直樹会長(左)
子ども会山本会長

子ども会
山本真依子会長(左)、
星野 喜久子様(右)



卓話



「OFDY 基金について」 西尾 輝久

どうして OFDY 基金に感心を持たれる様になってきたかといいますと、その理由として過去は最大 70 名ほどの会員の方が在籍されていましたが、時代の流れ

と共に減少してきました。それでもここ 10～15 年位は 30 名位で推移しておりましたが、ここへ来て 21 名という数になり、それまで会費の方は据置で来ておりましたが、さすがに会員だけでは困難な状態になってきました。会費値上げをしなければ(値上げと言っても 1～2 万で済む話ではありません)他の収入でまかなうしか方法はありません。つまり、ニコボックスと OFDY の寄付しかありません。他の寄付口を新たに設けなければ話は別ですが、それも容易ではありません。そうすると、ニコボックスは決まっておりますので、OFDY の寄付ということになります。しかし、現状では決まった規約があり、使用するには制約を受けますので、色々と幅広く使え、寄付もし易い OFDY に変えたらどうかという考えになり、又再生委員会からの提案もあり、OFDY 委員会としても規約を変え、使い易くするという案になり、理事会にも賛成していただきました。再度皆様に主旨をご理解いただきまして、12 月総会で決定し、早急に実行できるようにと願っております。

本日の卓話の内容ですが、

①OFDY 基金の発足の理由と現在までの経過説明

②過日の「OFDY 基金について」のアンケート結果

③今後の OFDY 基金規約の変更点

④OFDY 基金に対する意見

の順にお話させていただきます。最後に私のお願いですが、尾張旭ロータリーらしい奉仕の有意義な事業を行えるよう皆様の多額の寄付をお願いし、たとえ少人数でも「さすが尾張旭ロータリー」と言われるクラブになりたいと思います。

OFDY基金についてのアンケート

1、恒久基金について

- イ、このまま永久に使わない
- ロ、基金なので奉仕部門に目的を決めて使う
- ハ、会務運営が困難な時に使う
- ニ、その他

2、年次基金について

- イ、このまま青少年関係に使う
- ロ、奉仕部門に幅広く見直す
- ハ、一般会計にも入れる
- ニ、その他